

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 3月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 2 0 3 6 2 5
法人名	医療法人 和同会
事業所名	西広島グループホーム
所在地	広島市西区田方二丁目16-45 (電 話) 082-274-1600
評価機関名	西日本医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成21年3月10日

## 【情報提供票より】( 20年 7月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 12 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16人 常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算 11.5人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 コンクリート 造り 9 階建ての 階 ~ 2 階部分
------	----------------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷 金	有( 円) 〇無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 〇無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 7月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	1 名	要介護2	9 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89.3 歳	最低	65 歳	最高	102 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	広島パークヒル病院 ・ 力田歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

西広島グループホームは、病院や老人保健施設等に併設されているので入居者や家族にとって安心と言える。建物は少し高台にある為、展望が良く、見渡す景色も素晴らしい。また、建物の中に保育所があり、元気な幼児達の姿が見られ、微笑ましい。職員は、ホーム長を中心にいつも笑顔で対応されていて、優しい空気が感じられるソフトなホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	2ユニットを1名の夜勤者で対応していたが、今年から1ユニットで1名の夜勤者の体制に改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホームの生活の中で、随所に運動機能訓練をする為の工夫が見られる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、開催されており、地域の方は勿論、特に入居者の家族の方が8割以上参加され、より良い関係を構築されている
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホームと家族との交流は、頻繁にあり、直接意見を言う事が出来、その都度、対応されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の中学生の職場体験を受け入れたり、地域の町内会の行事に積極的に参加して交流を深めている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔で安心、和みのファミリー」の理念をホーム内に掲示してある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念、基本方針の記載してあるカードを職員全員が持っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、行事や地域活動に参加して交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はみんなで取り組み、改善すべき点は積極的に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の家族の方の参加が増え、家族同士のつながりも出来、家族と共に支える体制が見られる。		運営推進会議終了後、食事会をして交流している。

西広島グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後の課題としていきたい。		市町村にホームの考えや実態をよく知ってもらい、共有していく事が望ましい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用料は、持参される方が多く、来訪時に暮らしぶりや健康状態等、報告している。遠方の方は、月1回電話で近況を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	満足度アンケート調査を実施している。また、サービス向上委員会で職員の対応等を話し合っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の人事異動や退職はあるが、極力ダメージを最小限に抑える様に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を積極的に受け、スタッフ間の啓発にも努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内のグループホームとの交流会を通し、情報交換をしている。		機会があれば同区内のグループホーム間の交流もされるように期待している。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	声掛けをして、良い関係作りに努めている。また、家族にも協力してもらい、頻繁に来訪してもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の方から料理を教わったり、昔話を聞いて参考にしたり、喜び、悲しみも共感している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	入居者一人ひとりの希望や意向を把握している。例えば、若くして麻痺はあるが、週1回、昔馴染みの方が迎えに来て、映画やドライブを楽しんでおられる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	カンファレンスにおいて、家族の参加もあり、意見や希望を介護計画に反映している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的に介護計画の見直しを行なっているが、入居者の状態に変化が生じた場合には、随時、見直しを行なっている。		

西広島グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同事業所の理学療法士からアドバイスを受たり、車輛や会議室を借りたり、行事の交流もある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は、併設の医療機関の医師であり、必要に応じて眼科、皮膚科等も受診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	昨年、看取りを行なった。現在100歳以上の入居者が3名おられ他の入居者の高齢化も進み、主治医と家族との話し合いを度々行ない、方針を決めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	適切な大きさと、声かけも優しい語り口である。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の趣味である刺繍や物作りをして時間を過ごしたり、自由に売店で買い物をしたり、歩行訓練の支援をしている。		

西広島グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	対面キッチンなので、職員と入居者が気軽に対話を楽しんでいる。また、料理の皮剥きやお茶汲み等、一緒に準備や片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、週3回と決めてあるが、本人の希望があれば、好きな時間帯に入浴できる体制がある。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりの得意分野で力を発揮してもらえる様に仕事を頼んだり、サポートしている。携帯電話を持っている入居者も居られる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物へ一緒に行ったり、日曜日はよくドライブに出掛ける。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、避難訓練を行なっている。		地域の方と防災協定等、協力体制を築いていかれる事を望みます。

西広島グループホーム

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの食事の量や水分摂取量を記録し、不足しないように心掛けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節によって、ひな壇を飾ったり、入居者の作品等を工夫して飾りつけしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、それぞれ使い慣れた椅子や鏡台、こたつ等が持ち込まれ、居心地の良さに配慮している。		